

苦小牧聖ルカ幼稚園 関係者 評価表

評価年月日 2024年2月7日 評価者ご芳名 (高 橋 賢 司)

評価項目	評価(本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由にご記述ください。)
園長の自己評価について	・時代の多様化、特に保護者の働き方なども変化しており、保護者からのニーズも幅広くなっている。コロナ禍での気付きも含め、幼稚園として「やらねばならないこと」「やったほうが良いこと」「できないこと」を明確にしながら体制を整備していくことで、幼稚園としてのスタンスが確立されていくものとする。
教職員の自己評価について	・保育時間の関係で職員間のコミュニケーションが難しい状況もあると推察するが、逆に積極的なコミュニケーションにつなげていこうとする先生方の気持ちを感じる評価内容で、それは保護者とのコミュニケーションにもつながっているように思う。今後も共通理解を図りながら業務を推進して欲しい。 ・保護者対応に苦慮する場面が多いと思うが、複数での対応や記録を取ることをしながら、ケーススタディにつなげていくことも一つの方法だろうと考える。 ・研修については子どもたちが園内にいない状況があまりないため難しいと思うが、国立教育政策研究所等の動画教材や研究指定校への視察など、輪番制などで、定期的に研修できる体制は必要だと感じた。園内研修の内容が不明だが、例えば、研修担当者によるワークショップなど研修報告だけではなく、伝達研修会のような企画も可能ではないだろうか。
保護者のアンケート結果について	・日常の先生方の保育活動に対する理解が保護者に十分伝わっており、保護者と教職員との連携も取れていると感じる。ただ、行事に関して物足りなさを感じる保護者が多いのだろうと思われる。コロナ禍で行事の精選が行われ、従前の行事を知る保護者からは違和感があるのだろう。余裕ある保育活動に結びついている面もあることから、さらに充実を図る視点で改善につながればと感じる。 ・ルクミーによる配信について、単発の連絡はルクミー、年間行事予定・月間行事予定・給食献立表など中長期的な伝達については紙の方がありがたいと感じる保護者がいるようである。媒体によって何がベストであるか再考する必要があると考える。
本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想がありましたらご記述ください。 評価結果についてですが、数値については割合で昨年度結果も合わせて見えるようになると経年比較ができるためわかりやすいと思います。教職員評価についても数値データがあると良いのではないのでしょうか？コメントだけだと、評価の変容がわかりづらく感じました。 これからも、子どもたちの成長のために、頑張ってください。いろいろなご意見がありますが、無理にコロナ前に戻す必要はないと思います。4年間で社会的に大きく変化しているため、時代や地域からの求めを踏まえて、できることをコツコツと積み重ねてください。そのためには、先生方の心身の健康が大切です。陰ながら応援しています。	

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、ご感想を本園の今後のために有効に活用させていただきます。